

- 我が国を漂う閉塞感を打破する革新的なイノベーションを創出するためには、用途を考慮した基礎研究の役割が重要であり、「出口を見据えた研究」と「出口から見た研究」といったアプローチの違いを踏まえ、各々に最適な戦略を立てながら推進することが重要である。
- 「出口を見据えた研究」に係るファンディング施策としては、戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)が存在し、目利きによる隠れたイノベーションの素を見出すことで、これまでにヒトiPSの樹立やIGZOの開発といった革新的なイノベーションに結びつく研究成果を創出してきている。(→本検討会の主たる関心事項)
- 一方、「出口から見た研究」に係るファンディング施策としては、革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)や戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)といった新たな制度が総合科学技術会議を中心として設立されたところ。

「出口を見据えた研究」に係るファンディング施策

○戦略的創造研究推進事業（新技術シーズ創出）

トップダウンで定めた戦略目標を見据えて行う研究について、大学等の研究者から提案を募り、組織の枠を超えた時限的な研究体制（バーチャル・ネットワーク型研究所）を分野横断的に構築して、イノベーション指向の戦略的基礎研究を推進する。

研究者が主体となって、
社会経済的価値を有する目標（出口）
を見据えた基礎研究を推進

「出口から見た研究」に係る新たなファンディング施策

○革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）

優れたアイデアを持つプログラム・マネージャー（PM）に大胆な権限を付与し、実現すれば産業や社会のあり方に大きな変革をもたらす革新的な科学技術イノベーションの創出を目指したハイリスク・ハイインパクトな挑戦的研究開発を推進する。

○戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

総合科学技術会議が課題を特定した上で、課題ごとにプログラム・ディレクター（PD）を選定し、府省一体となった取組みを推進する。

PM・PDが主体となって、
直面する明確な課題の解決（出口）
のために必要な研究を推進

革 新 的 な イ ノ ベ ー シ ョ ン の 創 出